



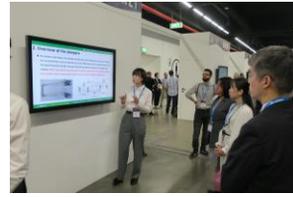
Pick Up News 7月はオープンキャンパス、子ども向けのサイエンスイベントなど、広く高校生、子ども、社会の皆様へ建築の学びの楽しさや魅力をお伝えする機会が多くありました。理系・文系、男子・女子関係なくゼロ0から学ぶことができる学問が「建築」です。将来の進路も建設業に留まらず、広くその活躍が期待される分野です。未来の建設・建築を担う人材発掘と、その養成に建築学部は積極的に務めて参ります。さて、大変暑い夏が続いています。昨年も話題にしましたが、今年の7月、仙台で30度超えの日は何日あったでしょうか？昨年7月は17日間でした。調べましたら今年も同じく17日でした。最高気温は7月22日の36.2度。8月も7日連続(8/7現在)30度を超えています。30年前(1994年7月)は12日間、20年前(2004年7月)は11日間、10年前(2014年7月)は10日間でした。梅雨時の降水量も見てみましょう。6・7月の合計降水量(仙台)は今年223(mm)、昨年328(mm)、一昨年531.5(mm)という数字からは雨の少ない梅雨だったということがわかります。グラデーションのように移り変わることが特色だった日本の四季はやや変わり始めているかもしれません。さて、学生の皆さんは夏休み。学生時代の時間は「今」しか味わえない貴重な時間。大いに楽しんで有意義な時間を過ごしてください。

7月は建築の学びを広く社会・高校生・子どもに伝える活動が多くありました！

7/6から7/8の日程で、全国の大学が一同に介して地方都市のまち歩きを行い、その場所が抱える課題や魅力をあぶり出し、提案につなげるワークショップ、IUW2024が今年は和歌山市で行われました。本学からは錦織研、齋藤研の修士1年が参加し、和歌山の様々な場所を調査し、他大学との交流を深めてきました。参加大学：足利大学、国土館大学、千葉工業大学、東京芸術大学、東京大学、東京理科大学(工学部・創域理工学部)、東北工業大学、和歌山大学



各研究室ではさまざまな形でゼミ活動が行われています。実験、調査、フィールドワーク...通常講義では得ることができない実践的で体感・体験的な学びができることが研究室活動の醍醐味です。発信してくれています。Please follow us!



大学院生がイタリア・ミラノで開催された世界地震工学会議(World Conference on Earthquake Engineering)に参加し、それぞれが取り組んでいる研究の成果を発表しました。発表には世界中から多くの研究者が集まり、研究内容について評価して頂き、発表後の質疑応答も活発に行われました。

オープンキャンパス2024 多くの高校生が各地から参加してくれました！



学部「仙台・宮城」サイエンスデイ2024に参加しました。本学科からは構造チーム・デザインチームの二つのプログラム出席と建築学科賞の創設で参加しました。構造チーム：キミも今日からエンジニア!~地震に強い建物を考えてつくってみよう~(堀研究室・船木・畑中研究室)、デザインチーム：建築家になって、家をデザインしよう!(中村研究室)。またララガーデン長町を会場に開催された「サイエンスデイinララガーデン長町」に、菊田・船木・畑中研究室が出席しました。イベントでは「ストロータワーチャレンジ!」と題して、ストローをクリップで連結してできるだけ高いタワーを作ることに挑戦しました。



Pick Up Lab. 現在、許研究室には大学院生6名と4年生8名が在籍し、主にBIM技術の応用を研究しています。昨年12月に、D2の劉君、M1の山村君、そして佐々木さんが、PLATEAU(3D都市モデル)を活用して、メタバース広告アプリを開発しました。このアプリは、MR(複合現実)技術を活用して、iPhone・iPadを通じて目の前の空間を再現、さらにはVR空間内でメタバース広告コンテンツの可視化を実現しました。彼らはPLATEAU AWARD 2023のコンペに挑戦しましたが、残念ながら受賞は叶いませんでした。それでも、これはBIMからDXへの進化の一步と言えるでしょう。



R5年度研究室集合写真



MIBからDXへ



4年 櫻庭 瑠七 さん
弘前工業高校 出身

Pick Up Student 私は先日、東北工業大学の大学院に進学することが決まりました。入学当初は就職しようと考えていましたが、建築に関する様々な講義を受けるうちに興味のあることが増えていき、自分が将来やりたいことについて考える時間が欲しいと思うようになりました。大学院進学は、自由に使える時間が増えることが大きな利点だと思っています。私はこの貴重な時間を使い、興味のある地域計画やランドスケープについての学びを深めたいと考えています。現在は、所属している不破研究室での地域活動や卒業論文・制作に向けての調査に取り組んでおり、充実した日々を過ごしています。貴重な経験ができるこの時間を大切に、残りの学生生活を楽しみたいと思います。



1年 佐々木 晴哉さん
湯沢翔北高校 出身

Pick Up Student 私は、高校では機械を専門に学びました。製図の授業はあったものの建築の製図とは全く違い初めはとても不安でした。ですが、建築を高校で学んできた友達に聞いたり、自分の出来上がった図面のレビューをいただいたりすることでだんだんと図面を書けるようになってきました。後期からは、速さと正確さを向上できるように取り組んでいきたいと考えています。私が現在楽しみにしていることは夏休みです。地元へ帰省したり、アルバイトをしたり、旅行に行くなど楽しみなことがとても多く新たな経験や大学生活の中でしかできない経験をたくさん得られる夏休みにしたいと思います。後期からの授業ではより専門的なことを学ぶのでとても楽しみです。